

科目名	耳鼻咽喉科専門医養成講座		
科目責任者	鈴木 秀 明	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 教授)	
担当者	若 杉 哲 郎	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 准教授)	
担当者	大久保 淳 一	(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学 講師)	
開講時期:	1～4年次	単位数:	2 単位
		時間数:	90分× 15 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>頭頸部領域の諸器官(聴器、平衡器、鼻副鼻腔、口腔、咽頭、喉頭、耳下腺、唾液腺、顔面神経)が、どのようにその固有の機能を果たしているかについて、解剖学的、神経学的、生理学的、生化学的、病理学的なレベルで理解を深める。次にその機能や病態を解明するための臨床的および実験的手法について学び、その意義と問題点を理解し、その手技を実習を通して習得する。さらにこれらの手法を用いての機能や病態を調べ、その本体と機序を明らかにする。こうして得られた結果を論文としてまとめ、頭頸部領域の諸器官の機能や病態を総合的に理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 頭頸部領域の諸器官の構造と機能を説明できる。 2) 頭頸部領域の諸器官に発生する疾患の診断と治療について概説できる。 3) 頭頸部領域の諸器官の構造と機能を解明するための臨床的・実験的手法について説明できる。 4) 頭頸部領域の諸器官に発生する疾患の病態を解明するための臨床的・実験的手法について概説できる。 5) 頭頸部領域の諸器官の構造と機能を、臨床的・実験的手法によって明らかにする。 6) 頭頸部領域の諸器官に発生する疾患の病態を、臨床的・実験的手法によって明らかにする。 7) 頭頸部領域の諸器官の構造と機能をについて論文としてまとめ、これを総合的に理解する。 8) 頭頸部領域の諸器官に発生する疾患について論文としてまとめ、その病態を総合的に理解する。 			
● 評価方法	プレゼンテーション内容40%、討議への参加度20%、課題レポート40%等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		